

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Alic-Style小笹 新築工事	階数	地上14階
建設地	福岡市中央区小笹三丁目七区48番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	240 人
地域区分	7地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2018年9月25日
敷地面積	1,669 m <sup>2</sup>	作成者	(株)K・Tプランニング
建築面積	609 m <sup>2</sup>	確認日	2018年9月25日
延床面積	5,880 m <sup>2</sup>	確認者	



さい

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 65%  
③上記+②以外の 65%  
④上記+ 65%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> F☆☆☆☆の建材の採用や品確法における断熱等性能等級4を満たす等、環境に配慮した設計になるように努めた。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 化学汚染物質による空気質汚染を回避するための対策として、F☆☆☆☆、VOC放散量が少ない建材を全面的に採用。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数を考慮し、住宅の品質確保の促進に関する法律におけるコンクリートの評価方法基準が等級2相当になるように努めた。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させるように努めた。
<b>LR1 エネルギー</b> 品確法における断熱等性能等級が等級4相当になるように努めた。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器を採用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 全住戸分の駐車スペースを確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される